

# 世界自然遺産登録を目指して-Ⅱ

## 南アルプス世界自然遺産登録推進協議会の設立

2007年2月28日、南アルプスに関係する山梨・長野・静岡3県の10市町村は、南アルプスの世界自然遺産登録を目指し、「南アルプス世界自然遺産登録推進協議会」を設立しました。

南アルプス世界自然遺産登録推進協議会は、南アルプスの顕著で普遍的な価値を見直し、その保全に努め将来に継承していくとともに、その価値を高め、人類共有の財産とすることを目的に、世界自然遺産登録を目指し、活動しています。

## 南アルプス世界自然遺産登録推進協議会を構成する市町村のプロフィール

南アルプス世界自然遺産登録推進協議会は、南アルプス国立公園を区域内に有する南アルプス市、韭崎市、北杜市、早川町（山梨県）、飯田市、伊那市、富士見町、大鹿村（長野県）、静岡市、川根本町（静岡県）の10市町村によって構成されています。オブザーバーとして、2009年度から山梨県、長野県、静岡県の3県が参加しています。

### ○韭崎市（山梨県）

韭崎市は、山梨県の中央部甲府盆地の北西に位置しており、西に南アルプス、南には富士山を望むことができるなど、都市地域でありながら豊かな自然環境と美しい景観を有しています。南アルプス北部、鳳凰三山の地蔵ヶ岳（2,764m）などへの登山口となっています。



地蔵ヶ岳



五色ヶ滝

### ○南アルプス市（山梨県）

南アルプス市は、富士山に次いで二番目に高い北岳（3,193m）に代表される白根山地の麓に広がる人口7万余りの街です。市の西端にある芦安地区（旧芦安村）は、南アルプス登山発祥の地であり、南アルプス北部山城の情報発信基地となっている南アルプス芦安山岳館があります。北岳のみならず南アルプス北部山城の玄関口となっていて、南アルプス市営のバスが広河原と北沢峠を連絡しています。



初冠雪の北岳



キタダケソウ

### ○北杜市（山梨県）

北杜市は山梨県北西部に位置し、南アルプス、ハケ岳など日本を代表する山岳景観に囲まれた文字どおり「杜のまち」です。市街からはゴツゴツとした甲斐駒ヶ岳（2,967m）の姿を見上げることができ、岳人試練の長い登りで知られる黒戸尾根の登山口でもあります。



北杜市内から望む雪の甲斐駒ヶ岳



モモ畑と甲斐駒ヶ岳

### ○早川町（山梨県）

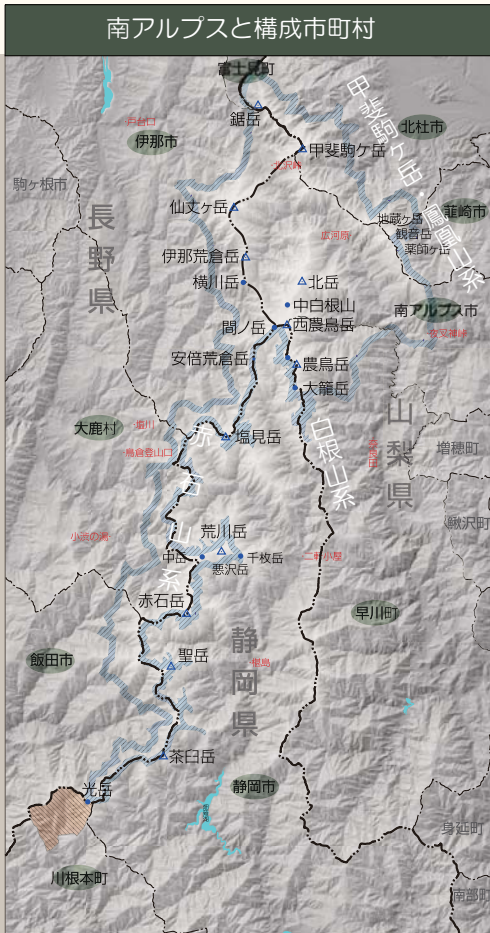
山梨県の南西部に位置する早川町は、町の中央に日本列島を分断するといわれる糸魚川―静岡構造線が貫いています。町の一帯奥地にある奈良田温泉は、白根三山南部の高峰・農鳥岳（3,025m）の登山基地となっていて、山岳写真家・白旗史朗氏の写真館があります。



大籠岳より農鳥岳、北岳



雨滝分岐から北岳、間ノ岳



### ○飯田市（長野県）

飯田市は、3,000m級の山岳地帯からリング並木のある市街地まで、四季の変化に富む豊かな自然と優れた景観に恵まれています。南アルプスの山城は2005年に合併した旧上村地区と旧南信濃村地区の一部が含まれており、天竜川支流の遠山川上流にある西沢渡や易老渡が南アルプス南部山城の聖岳（3,013m）や茶臼岳（2,604m）の登山口になっています。



下栗の里から見た聖岳



上河内岳から見た深南部の山々

### ○伊那市（長野県）

伊那市は長野県の南部に位置し、東に南アルプス、西に中央アルプスという3,000m級の2つのアルプスを有しています。「天下第一の桜」で知られる高遠城址公園からは、満開の桜越しに雪を頂いた仙丈ヶ岳を望むことができます。古くから四季を通じ南アルプス登山の長野県玄関口として、多くの岳人に親しまれています。1980年から北沢峠まで市営林道バスの運行が始まり、登山者しか見ることができなかった雄大な大自然を目当てに、幅広い層の人たちが訪れています。



南アルプス林道バス



高遠城址公園と仙丈ヶ岳

### ○富士見町（長野県）

富士見町は長野県の東南部に位置し、釜無川上流の流路を挟んで山梨県北杜市と境を接し、ハケ岳と南アルプスに挟まれた標高1,000m前後の高原地帯にあります。南アルプス最北端の山・鋸岳（2,685m）を末端から縦走する時の登山口になります。



釜無川から甲斐駒ヶ岳・鋸岳



ホテイアツモリ

### ○大鹿村（長野県）

長野県下伊那郡の北東部に位置し、長野県と静岡県の7市町村に囲まれた村です。東には3,000m級の南アルプスの山々がそびえ立ち、西は伊那山地に隔てられた農耕地の少ない典型的な山村です。本村の中央部を中央構造線が南北に縦断していることで、地質学的にも知られていて、村内に中央構造線博物館があります。赤石岳に源を発する小渋川上流や鳥倉、塩川は、南アルプス中部の3,000m峰である塩見岳、荒川岳、赤石岳への登山口になります。



中央構造線・安康露頭



春の南アルプス

## エコツーリズムの実践

南アルプス世界自然遺産登録推進協議会に所属する市町村では、これまで各市町村が集積してきた南アルプスに関する様々な知見や、推進協議会・学術検討委員会で取り上げられた南アルプスに関する新しい話題を幅広い世代の人たちに体験・認知してもらうとともに、実践的な行動を開始しました。指導のためのテキストやガイドの養成などの準備が整った組織や団体では、南アルプスの価値や、南アルプスと共に生きる人々の伝統・文化などを来訪者に広く認識させるためのエコツアーを積極的に進めています。

### ○NPO法人・芦安ファンクラブ（南アルプス市）の取り組み

芦安地域を中心とする南アルプス市の自然を愛する全ての人達に対して、地域の人々との交流を通じた南アルプス山岳地域の環境保全及び適正利用に関する事業を行い、この地域の活性化に寄与しています。地域でなければできないガイドサービスとして、大柳川エコツアーと北岳でのキタダケソウ観察会を毎年行っています。



大柳川エコツアー



2007年度・キタダケソウ観察会

## 拠点整備

環境省関東地方環境事務所では、南アルプス国立公園区域への入り込み者の増加や登山形式の変化に対応し、公園区域の自然環境の変化を緊密に把握し対応するため、拠点整備を進めています。登山客が集中する南アルプス市の広河原へのインフォメーションセンターの建設のほか、2008年10月からは、南アルプス国立公園を専管する自然保護官事務所の開設と専任の自然保護官が配置されました。

### ○静岡市（静岡県）

静岡市は、県都として政治・経済・文化などの様々な中枢機能が集積する政令指定都市であるとともに、海・山の風光に恵まれています。市北部の大井川上流域には南アルプスの3,000m級の高峰が山梨・長野県境まで連なっています。井川・畑窪地区は、塩見岳、荒川岳、赤石岳、聖岳、茶臼岳、光岳など、南アルプス中・南部山城登山の拠点となっています。



赤石岳



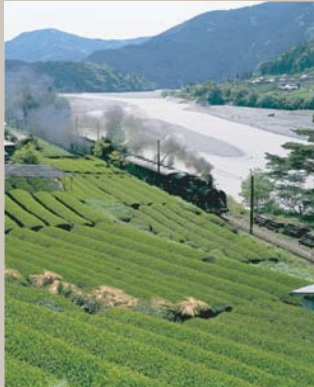
南アルプスの景観

### ○川根本町（静岡県）

川根本町は静岡県の中央部を流れる大井川中流域、南アルプス国立公園の最南端に位置し、町の北部には光岳など2,000～2,600m級の山々が連なっています。町域の90%以上が山林ですが、大井川に沿った山間斜面を利用しての茶の栽培が盛んで、良質な川根茶の産地として知られています。なお、光岳の南西側は本州唯一の原生自然環境保全地域に指定されています。



光岳と南アルプスの山々



大井川と茶畑

### ○NPO法人・南アルプス研究会（伊那市）の取り組み

山村を文化的創造物と位置づけ、山村の維持に向けて、地域資源を利用した地域内循環システムに基づき、自主的に循環的な地域作りを目指し、調査・研究及び、主催事業・報告書の発行などを行っています。また、2004年度より仙丈ヶ岳において環境教育事業に取り組み、2007年度の事業では、午前中に215人の登山者を対象に環境に関する意識調査を行い、午後122名の仙丈小屋宿泊者を対象に環境教育と意識調査を行いました。



仙丈ヶ岳における環境教育

### ○奥大井・南アルプスマウンテンパーク推進協議会（静岡県・静岡市・川根本町）の取り組み

世界遺産に匹敵する自然環境を有する奥大井・南アルプスは、魅力に溢れ大きな可能性を秘めた地域です。1998年に静岡県が策定した「奥大井・アルプスマウンテンパーク構想」は、大井川・安倍川流域の地域づくりのための基本方針となるもので、静岡市北部の山村地域や川根本町は、この構想を推進する上で特に重要な地域になっています。

現在、この地域では、貴重な自然環境を保全・育成・継承しながら、奥大井・南アルプスの普遍的な価値や魅力を高め、交流と連携を通じて美しく豊かな未来を構築するため、官民一体となってエコツーリズムの実践に取り組んでいます。



鳥森山（根島）におけるエコツアー（野生鳥獣の食害を調べる）